

2011 年 IWC/日本共同北太平洋鯨類目視調査の終了について —IWC-POWER 調査航海—

2011 年 10 月 3 日
日本鯨類研究所

1 経緯

IWC（国際捕鯨委員会）/日本共同北太平洋鯨類目視調査は、IWC-SOWER(International Whaling Commission-Southern Ocean Whale and Ecosystem Research：南大洋鯨類生態系調査、1996/97 年度～2009/2010 年度) プログラムの終了を受け、そのノウハウ等を活用して、2010 年度より IWC と日本との共同で実施されているプログラムです。

IWC-SOWER は、その前身である IDCR(International Decade of Cetacean Research：国際鯨類調査 10 ヶ年計画、1978/79 年度～1995/96 年度)と合わせ 32 年間にわたって実施され、南極海のクロミンククジラをはじめとする鯨類資源の資源量とそのトレンドを明らかにするなど、IWC で最も成功した国際共同調査プログラムとして知られています。日本は、長年にわたってこの調査プログラムに対し調査船舶とその乗組員を提供し、その継続的实施に貢献してきました。

IWC/日本共同北太平洋鯨類目視調査では、IWC 科学委員会の主要研究課題に則した調査計画が 2010 年より実施されており、昨年の調査では、過去数十年にわたって広域的調査が実施されてこなかった海域において、多数のナガスクジラやイロシクジラが発見され、貴重なデータが収集されました。今回は、その第 2 回目の調査航海となります。

なお、本年の IWC 科学委員会では、本プログラムの名称を、IWC-POWER(Pacific Ocean Whale and Ecosystem Research：太平洋鯨類生態系調査)とすることが決定されています。

2 調査計画と結果概要

本件目視調査は、IWC と日本国政府が共同して実施するもので、IWC 科学委員会が調査計画の策定を行い、同委員会内に設置された POWER 運営グループ（コンビーナー：加藤秀弘東京海洋大学教授）の主導の下、(独)水産総合研究センター国際水産資源研究所（旧：遠洋水産研究所）や米国 NOAA/NMFS アラスカ漁業科学センター等関係機関が協力して、具体的な調査航海計画の立案を行いました。

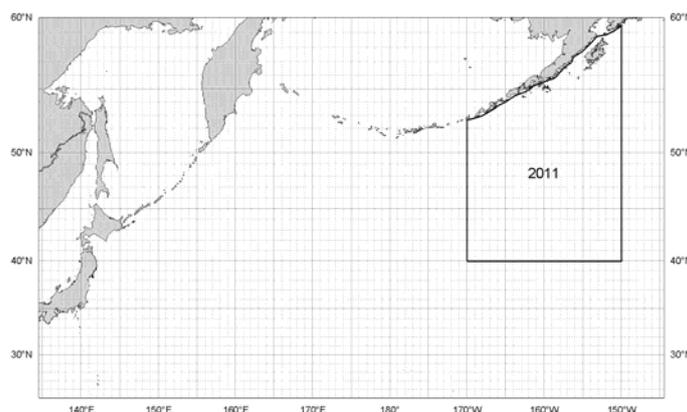
調査航海は、水産庁からの委託を受け、(財)日本鯨類研究所が実施しました。本年の調査計画とその結果概要は以下のとおりです。

2.1 主要調査目的：

- (1) イロシクジラ（及びナガスクジラ等その他の鯨種）の資源量推定
- (2) イロシクジラ、ナガスクジラ及びマッコウクジラ（及びその他の鯨種）の系群構造に関する情報の収集（特にバイオプシー・サンプルの採取）
- (3) 北太平洋セミクジラ、シロナガスクジラ等希少鯨種の個体識別写真撮影及びバイオプシー・サンプルの採取

2.2 航海期間：2011 年 7 月 11 日（下関出港）－9 月 8 日（函館入港）（全 60 日間）

2.3 調査海域：北緯 40 度以北、アリューシャン列島以南、西経 170 度以東-西経 150 度以西（公海及び米国 200 海里水域を含む。）



2.4. 国際調査員：

松岡耕二（調査団長、日本、(財)日本鯨類研究所）
サリー・ミズロフ（米国、NOAA/NMFS アラスカ漁業科学センター）

2.5. 調査船：第三勇新丸（742 トン）

2.6. 総探索距離：3,097.8 海里（約 5,740km）

2.7. 主要な発見鯨種：

シロナガスクジラ 10 群 10 頭、ナガスクジラ 82 群 141 頭、イワシクジラ 58 群 95 頭、ザトウクジラ 76 群 133 頭、マッコウクジラ 95 群 119 頭

2.8. サンプル採取結果等

(1) バイオプシー・サンプル採取（個体数）

シロナガスクジラ 4 頭、ナガスクジラ 12 頭、イワシクジラ 31 頭、ザトウクジラ 1 頭から、バイオプシー・サンプルを採取しました。これらのサンプルは、各鯨種の系群構造の解明等に役立てられます。

(2) 個体識別写真撮影（個体数）

シロナガスクジラ 9 頭、ザトウクジラ 48 頭、ナガスクジラ 25 頭・イワシクジラ 27 頭等について、個体識別写真を撮影しました。これらは各鯨種の回遊生態や生活史を解明する上で貴重な情報となります。

(3) 海洋漂流物記録

調査海域との往復で通過した日本近海では、東日本大震災の津波を原因とすると思われる海洋漂流物が多数発見されました（海洋漂流物記録：合計 132 件（漁業用浮子等 71 件、材木等 23 件、その他冷蔵庫、タイヤ、転覆小型船等））

以上



バイオプシー・サンプル採取風景



ナガスクジラからのバイオプシー・サンプル採取風景



イワシクジラの親子